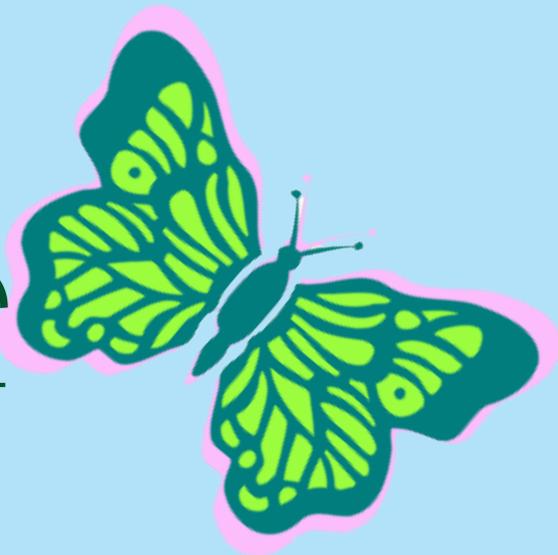


立教大学 ESD 研究所主催 公開講演会

# 蝶から見た人と自然との付き合い

—都市における生物多様性の恵みを考える—



**講師：奥本 大三郎 氏**

(大阪芸術大学教授、埼玉大学名誉教授、NPO 日本アンリ・ファール会理事長)

近年、生物多様性の重要性が指摘されるようになってきました。生物多様性がもたらす恵みによって、私たちは暮らしを営むことができます。このため、生物多様性はESDの主要なテーマとして注目されています。しかし、生物多様性の重要性を知る機会は、決して多くありません。フランス文学者である奥本氏は、長年にわたり、著作や昆虫採集などの取り組みを通じて、昆虫と人とのかかわりについて理解を深める活動を展開してきました。本講演会では、昆虫、特に蝶を切り口に、人と自然とのかかわりがもたらす豊かさについて話題提供をいただき、都市住民にとっての生物多様性の価値について考察を深めたいと思います。

**日時：2014年7月2日(水)**

**18:30 ~ 20:45**

**場所：立教大学 池袋キャンパス  
太刀川記念館 多目的ホール**

【主催・問合せ先】立教大学 ESD 研究所

tel/fax: 03-3985-2686

e-mail: esdrc@rikkyo.ac.jp



【共催】立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科

**\*\* 予約不要・入場無料 \*\***

**講師略歴：奥本 大三郎 氏**

フランス文学者、作家。主な著書に『虫の宇宙誌』（青土社、読売文学賞）、『ファール昆虫記〈ジュニア版〉』（全8巻、集英社、産経児童出版文化賞）、『楽しき熱帯』（集英社、サントリー学芸賞）、『斑猫の宿』（中央公論新社、JTBの旅文学大賞）、『博物学の巨人アンリ・ファール』（集英社）、『完訳ファール昆虫記』（集英社）ほか多数。NPO 日本アンリ・ファール会を設立。東京の自宅に、昆虫の標本やファールの資料を展示する「ファール昆虫館 虫の詩人の館」を開館。